

平成29年度 評価・反省

ゆたか児童クラブ

<p>全体として</p>	<p>環境面では、早帰りの日や長期休みを利用して、地域の公園や小学校を積極的に利用し、様々な場所や人との遊びの環境づくりを意識した。健康面では、子ども達が自発的に病気予防に取り組む姿が見られたが、集団感染などで風邪をひいたり、体調を崩す子が後半多かったので、手洗い・うがいなどの指導などを徹底して行いたい。</p>
<p>養護的な部分として</p>	<p>子どもの意志を尊重し、安心して過ごせるよう配慮した。職員が子ども達を各場所から見守りながら、トラブルなどが起こった際には、一人一人の意見を聞き、その子に合った対応をとるように心掛けた。普段から子ども達への言葉がけや一緒に遊ぶことで、コミュニケーションを取り、友だちや職員との楽しい時間を過ごせる様促した。</p>
<p>健康・人間関係・環境 言葉・表現について</p>	<p>日頃から、手洗い・うがいの指導を行い、自分たちで健康管理ができる様指導した。子ども一人一人の性格を把握し、その子に合った対応を取る事で、職員や友だちと安心して過ごせる環境づくりを促した。部屋の掃除や石拾い、草むしりを日常的に行う事で環境美化の意識を高めた。乱暴な言葉を使わずに自分の気持ちを伝えられるよう指導し、援助した。また、季節のものや行事の製作を通して、表現力を養った。</p>
<p>老人ホーム交流</p>	<p>長期休暇中は、老人ホームと連携をとり、訪問ライブを行い、積極的にお年寄りと交流する機会を作った。事前に子ども達と昔の童謡を練習したり、大きな歌詞カードを製作し、持ち込むことで、ライブの際に子どももお年寄りも、大きな声で歌う事を楽しむ姿が見られた。秋には、交流会を行い、子どもとお年寄りが協力して、製作を行った。一緒に一つの目標を持ち、助け合う事で、世代を超えて信頼関係を築くことができた。</p>
<p>地域との関わり</p>	<p>園周辺のゴミ拾いを行ったり、学童周辺の公園等を調べ、探索し歩いたり、遊んだりすることで、自身の暮らす地域への関心や興味が深まった。12月からゆたかごはんに参加し、地域の方々と一緒に食事やレクリエーションを行う事で、地域の方々とながら、あいさつや礼儀の大切さを学ぶ事が出来た。</p>
<p>小学校との連携</p>	<p>年間行事の共有や、学年ごとの下校時間をこまめに確認し合い、子どもの状況把握や安全確保を心掛けた。子どもの様子や保護者の件で、気になる事がある場合には、担任と情報共有し合うようにした。今後は更に意識的に、情報の共有を行いたい。</p>
<p>保護者支援</p>	<p>お迎え時に学童での生活の様子を伝え、保護者からは家庭での様子を聞き、情報の共有を行った。普段から保護者とのコミュニケーションを心掛け、不安な事や心配なことがあるときに相談しやすい環境づくりを心掛けた。</p>
<p>健康・安全</p>	<p>子ども一人一人の様子を良く観察し、異常を感じた際には声を掛け、適切な対応を心掛けた。登園時に手洗い・うがいを促し、病気の予防を行い、健康管理への意識を高める事が出来た。安全面では、学童でのルールや遊具の使い方などを子ども達と確認し、怪我なく過ごせるように指導した。また、危険がない様に子どもが常に視界に入るよう、職員の配置を工夫した。</p>
<p>その他</p>	<p>自分の持ち物を自分で管理できるよう指導を行う事で、忘れ物が減り、トラブルも少なくなった。また、掃除場所を分担して、自分たちで掃除を行う事で、整理整頓への意識を高める事が出来た。</p>